

選挙

選挙管理委員会委員及び補充員

委員

岩間多恵子 氏 (佐屋町)

伊藤 仁 氏 (四会町)

横井治吉 氏 (下東川町)

山岸敏則 氏 (草平町)

補充員

清水清治 氏 (大井町)

平野庄一 氏 (山路町)

安藤知男 氏 (二子町)

後藤幹夫 氏 (諸桑町)

討論

一般会計補正予算

賛成討論

4月の市長選挙で掲げていたマニフェストに沿って計上された予算。保育園の耐震化、妊産婦健診の公費負担拡大、新給食センター建設に向けた取り組み、勝幡駅前整備事業、総合斎苑事業の継続など、早期実現に向けた取り組みが計上されている。多くは市民に重要な事業であり、今後、住民を第一に考え、協議、検討することを望む。

賛成討論

限られた財源で、いかに効率的な財政運営をするかを検討し、今、実施に必要な事業に取り組み予算編成である。巡回バスコースの見直しや緊急通報システム用電話機購

入、ちびっ子広場の老朽化した遊具の取り替え、公立保育園の耐震診断、妊婦健康診査の拡大、給食センター建設など大事な事業である。厳しい財政状況ではあるが、市民サービス向上に努力するよう要望し賛成する。

反対討論

巡回バスコースの見直し、市民向け防炎情報携帯電話一斉通信システムの導入、公立保育園の耐震審査、妊婦健診の拡大などを計上している。しかし、式場併設など過大な斎苑建設事業は見直すべきだ。新給食センターに立田センターを統合する計画は賛成できない。PFI的手法でなく、直接市が責任を持ち進めるべきだ。西條地区の企業誘致の道路新設改良よりも地元企業の振興を進めるべき。以上の理由から反対する。

反対討論

公立保育園の耐震調査など前進した部分もあるが、道路建設や公共下水特別会計への

繰り出しなど、課題もある。総合斎苑問題では、法を犯して進めたことは無効であり、セレモニーホールは市が行う事業ではなく、賛成することはできない。

反対討論

要望などが多岐にわたり記載されており、ひとつひとつは意見としてきちんと受け止めなければならぬものである。しかし、陳情書として焦点がつかみにくく、まとまりがないため、すべての陳情内容について、まとめて決することは困難と考える。

また、学校給食においても、地産地消は「まちづくり効果」や愛西市の農業のアピールにも効果がある。この議案には反対する。

住民の暮らしを守り、公共サービスの充実、格差の是正、働くルールの確立、平和な世界の実現などを求める陳情

賛成討論

「住民サービス向上のための必要な人員の確保」「安易な民営化・民間委託は行わない」「職場からのサービス残業・偽装請負・違法派遣を一掃」「30人学級の実現、教育予算の増額」「平和についての啓発予算の確保」など、市民の暮らしを守るため、やらなければならぬことばかりであり、